

# ぶらり浮世絵散歩 —平木名品コレクション—

会期: 2016年4月16日(土)~5月29日(日)

主催: 徳川美術館・名古屋市蓬左文庫・公益財団法人平木浮世絵財団・中日新聞社・日本経済新聞社

平木コレクションは、実業家平木信二氏（1910~71）が蒐集した浮世絵版画のコレクションです。総数は6000点、重要文化財・重要美術品を249点含み、質量ともに世界に誇る屈指のコレクションといえます。本展では、素朴な表現ながらも遊郭と芝居のいわゆる「二大悪所」を生き活きと写しだした初期浮世絵に焦点を当て、さらに鈴木春信・喜多川歌麿・勝川春章・東洲斎写楽・葛飾北斎・歌川広重など、各時代を彩った浮世絵師の名品115点を公開し、浮世絵の歴史と魅力を探ります。

また、徳川美術館 名品コレクション展示室・第5室では、近世文学の先駆的研究者・尾崎久弥（1890~1972）より名古屋市に寄贈された「尾崎久弥コレクション」と徳川美術館所蔵の浮世絵の中から、江戸の終わりに燦然と輝いた歌川国貞・歌川国芳・溪斎英泉、3人の浮世絵師を紹介します。

・◎は重要文化財 ○は重要美術品です。

・所蔵に表記のない作品は平木浮世絵財団の所蔵です。※は徳川美術館、※※は名古屋市博物館、※※※は名古屋市蓬左文庫の所蔵です。

・都合により出品作品が変更になることがあります。

・目録の順番は陳列の順番と必ずしも一致しません。

展示期間

A: 4月16日~5月8日

B: 5月10日~5月29日

No.	指定	作品名称	絵師	判型・寸法など	時代	期間 所蔵
<b>1. 歌舞伎と初期役者絵</b>						
1		風流四方屏風 市川団十郎	鳥居清信	墨摺絵	元禄13年(1700)	
2		風流四方屏風 岸田小才次	鳥居清信	墨摺絵	元禄13年(1700)	
3		風流四方屏風 生島新五郎	鳥居清信	墨摺絵	元禄13年(1700)	
4		風流四方屏風 松本兵蔵	鳥居清信	墨摺絵	元禄13年(1700)	
5		風流四方屏風 山中平九郎	鳥居清信	墨摺絵	元禄13年(1700)	
6		風流四方屏風 若村沢之丞	鳥居清信	墨摺絵	元禄13年(1700)	
7		風流四方屏風 中村七三郎	鳥居清信	墨摺絵	元禄13年(1700)	
8		風流四方屏風 岸田小源次	鳥居清信	墨摺絵	元禄13年(1700)	
9		風流四方屏風 水木辰之介	鳥居清信	墨摺絵	元禄13年(1700)	
10		風流四方屏風 五代目中村勘三郎	鳥居清信	墨摺絵	元禄13年(1700)	
11	○	浮絵劇場図	鳥居清忠	横大々判 漆絵	延享3年(1746)頃	
12	○	いわい左源太 かつ山又五郎	無款(鳥居清信)	細判 丹絵	元禄14年(1701)	
13	○	早川はつせ 中村七三郎	無款(鳥居清信)	細判 丹絵	元禄15年(1702)	
14	○	山中平九郎 二代目市川団十郎	無款(鳥居清信)	細判 丹絵	正徳4年(1714)	
15		京下り筒井吉十郎	無款	大々判 丹絵	宝永元年(1704)	
16		若林四郎五郎 市村玉柏 四代目市村竹之丞	鳥居清倍	大々判 丹絵	正徳5年(1715)	
17		絵暦 享保十年役者評判	鳥居清信	細判 墨摺筆彩	享保10年(1725)	
18		沢村宗十郎のなごや 二代目市川団十郎の伴左衛門	二代鳥居清倍	細判 漆絵	享保16年(1731)	
19		瀬川菊之丞の大あたり	奥村利信	細判 漆絵	享保16年(1731)	
20		猿まわし	奥村政信	細判 漆絵	享保期(1716~36)	
21		二代目市川団十郎のそがの五郎	奥村政信	細判 漆絵	享保12年(1727)	
22		八代目市村宇左衛門 嵐小六	奥村政信	細判 紅摺絵	延享4年(1747)	
23		さの川市松のらんきく丸 嵐富之助の浪きく	鳥居清広	細判 紅摺絵	宝暦6年(1756)	
24		四代目市川団十郎 本名久米ノ忠勝	鳥居清経	細判 紅摺絵	宝暦(1751~64)末期	
25		中村富十郎 京四条下り山下又太郎	山本義信	細判 紅摺絵	宝暦6年(1756)	
<b>2. 浮世絵の誕生から錦絵の創始へ—師宣から春信・春草—</b>						
26		よしはらの躰 男女遊興の図	菱川師宣	横大判 墨摺絵	延宝(1673~81)後期~ 天和期(1681~84)頃	
27		上野花見の躰 十	菱川師宣	横大判 墨摺絵	延宝(1673~81)後期~ 天和期(1681~84)頃	
28		宇治川先陣争い	無款(奥村政信)	横大判 墨摺絵	正徳期(1711~16)頃	
29		朝比奈門破り	無款(奥村政信)	横大判 墨摺絵	正徳期(1711~17)頃	
30		女絵師	鳥居清信	横大判 墨摺絵	正徳元年(1711)	
31		書見	鳥居清信	横大判 墨摺絵	正徳元年(1711)	
32		男女読書図	無款	横大判 墨摺絵	元禄期(1688~1704)	
33		傘さす女	鳥居清忠	細判 漆絵	享保~寛保期(1716~44)	
34		染色のやま閨の雛形一	奥村政信	横大判 紅絵	元文5年(1740)	
35	○	志道軒と若衆美人	奥村政信	横大判 紅摺絵	宝暦期(1751~64)	
36		禿三幅対 右	奥村政信	細判 紅摺絵	延享~寛延期(1744~51)頃	A

No.	指定 作品名称	絵師	判型・寸法など	時代	期間 所蔵
37	禿三幅対 中	奥村政信	細判 紅摺絵	延享～寛延期(1744～52)頃	A
38	禿三幅対 左	奥村政信	細判 紅摺絵	延享～寛延期(1744～53)頃	A
39	掛物三幅対 中 現の遊	西村重長	細判 紅摺絵	延享～寛延期(1744～54)頃	B
40	掛物三幅対 左 現の遊	西村重長	細判 紅摺絵	延享～寛延期(1744～55)頃	B
41	浮世三幅対 中	万月堂	細判 紅摺絵	延享4年(1747)	B
42	見立芥川	奥村源六	横中判 漆絵	享保(1716～36)中期	
43	○ 妓楼の酒もり	石川豊信	横大判 紅摺絵	宝暦(1751～64)中期	
44	○ 二代目坂東彦三郎のしたの小太良	鳥居清満	細判 紅摺絵	宝暦9年(1759)	
45	三代目大谷広治の四郎兵へ 中村松江のおまん	鳥居清満	細判 紅摺絵	明和6年(1769)頃	
46	○ 四代目岩井半四郎 二代目坂東彦三郎	鳥居清満	中判 錦絵	明和4年(1767)頃	
47	○ 機織	鈴木春信	中判 錦絵	明和3年(1766)頃	A
48	見立黄石公張良	鈴木春信	中判・二枚続 錦絵	明和3年(1766)頃	
49	見立琴高	鈴木春信	中判 錦絵	明和5年(1768)頃	B
50	○ 蚩狩り	鈴木春信	中判 錦絵	明和5年(1768)頃	A
51	○ 大門屋木戸口	鈴木春信	中判 錦絵	明和5年(1768)頃	B
52	当世七福神 布袋	鈴木春信	中判 錦絵	明和6年(1769)頃	
53	○ 牛に乗れる遊女	鈴木春信	柱絵 錦絵	明和6～7年(1769～70)頃	A
54	文かく遊女	鈴木春信	柱絵判 錦絵	明和5～6年(1768～69)	B
55	雪月花内 青楼雪	鈴木春重	中判 錦絵	明和8年(1771)頃	A
56	松根に寄て休息をするの図	無款	中判 錦絵	明和(1764～72)後期	B
57	菊花美人	田中益信	柱絵判 錦絵	明和(1764～72)後期	B
58	風流やつし武者鑑 信玄 謙信	磯田湖龍齋	中判 錦絵	明和(1764～72)後期	
59	○ おにご	磯田湖龍齋	柱絵判 錦絵	安永(1772～81)初期	A
60	風流長哥八景 新羽衣の晴嵐	磯田湖龍齋	中判 錦絵	安永(1772～81)前期	B
61	○ 今様芸者風俗 またなまゑいときいて気のない躰	磯田湖龍齋	間判 錦絵	安永(1772～81)中期	A
62	曾我の対面 坂東三津五郎 三代目大谷広次 四代目坂東又太郎	勝川春章	中判 錦絵	明和5年(1768)	A
63	二代目中村助五郎	勝川春章	細判 錦絵	明和6年(1769)頃	A
64	三代目大谷広次	勝川春章	細判 錦絵	安永2～3年(1773～74)頃	B
65	中村富十郎の板額	勝川春章	細判 錦絵	安永6年(1777)	B
66	六代目中山小十郎	勝川春章	細判 錦絵	天明5年(1785)	
67	中村仲蔵	勝川春好	細判 錦絵	安永5年(1776)	A
68	四代目市川団蔵	勝川春好	細判 錦絵	安永9年(1780)	B
69	坂東三津五郎 三代目大谷広右衛門	勝川春好	細判・二枚続 錦絵	安永(1772～81)後期	A
70	三代目市川高麗蔵 八代目森田勘弥	勝川春英	細判・二枚続 錦絵	寛政(1789～1801)前期	B
71	三代目沢村宗十郎	勝川春英	細判 錦絵	寛政3年(1791)	

### 3. 浮世絵の黄金期—清長・歌麿・写楽—

72	色競艶婦姿 髪結	鳥居清長	中判 錦絵	天明元年(1781)頃	A
73	美南見十二候 五月	鳥居清長	中判 錦絵	天明3年(1783)頃	B
74	二代目市川門之助と遊女	鳥居清長	間判 錦絵	天明2年(1782)頃	B
75	○ 当世遊里美人合 橘中妓	鳥居清長	大判 錦絵	天明2年(1782)頃	A
76	○ 棧橋の涼み	鳥居清長	柱絵 錦絵	天明2年(1782)頃	
77	○ 日傘をさす芸者	鳥居清長	柱絵判 錦絵	天明3年(1783)頃	
78	駿河町越後屋	鳥居清長	横大々判 墨摺筆彩	寛政4年(1795)	
79	大文字や内まゆずミ なゝめしげき	勝川春潮	大判 錦絵	天明7年(1787)頃	B
80	○ 農業満作出来秋之図	勝川春潮	間判 錦絵	寛政(1789～1801)前期	A
81	竹河 鏡前美人	鳥文斎栄之	大判 錦絵	寛政5～6年(1793～94)頃	A
82	○ 扇屋うち 花扇 よしの たつた	鳥文斎栄之	間判 錦絵	寛政(1789～1801)初期	B
83	普賢像 吉原桜	喜多川歌麿	横大判 錦絵	寛政2年(1790)	
84	普賢像 上野山桜	喜多川歌麿	横大判 錦絵	寛政2年(1790)	
85	普賢像 小金井桜	喜多川歌麿	横大判 錦絵	寛政2年(1790)	
86	普賢像 御殿山桜	喜多川歌麿	横大判 錦絵	寛政2年(1790)	
87	普賢像 飛鳥山桜(京の花見)	喜多川歌麿	横大判 錦絵	寛政2年(1790)	
88	○ 青楼十二時 続 巳ノ刻	喜多川歌麿	大判 錦絵	寛政5～7年(1793～95)	B
89	針仕事	喜多川歌麿	大判 錦絵	寛政7年(1795)頃	A
90	○ 鶏舌楼 雛鶴 廊下の風情	喜多川歌麿	大判 錦絵	寛政(1789～1801)後期	A
91	ねかひの糸ぐち	喜多川歌麿	横大判 錦絵	寛政11年(1799)	
92	婚礼色直し之図 三枚続	喜多川歌麿	大判・三枚続 錦絵	寛政(1789～1801)後期	
93	三浦屋内 高尾	喜多川歌麿	大判 錦絵	享和2～3年(1802～03)	B
94	役者舞台之姿絵 たち華や	歌川豊国	大判 錦絵	寛政6年(1794)	B
95	○ 役者舞台之姿絵 高らいや	歌川豊国	大判 錦絵	寛政7年(1795)	A
96	三代目市川八百蔵の田辺文蔵	東洲斎写楽	大判 錦絵	寛政6年(1794)5月	
97	谷村虎蔵の鷲塚八平次	東洲斎写楽	大判 錦絵	寛政6年(1794)5月	A

No.	指定 作品名称	絵師	判型・寸法など	時代	期間所蔵
98	三代目佐野川市松の祇園町の白人おなよ	東洲斎写楽	大判 錦絵	寛政6年(1794)5月	B
99	三代目瀬川富三郎の大岸蔵人妻やどり木と中村万世の腰元若草	東洲斎写楽	大判 錦絵	寛政6年(1794)5月	A
100	二代目嵐龍蔵の奴浮世又平と三代目大谷広次の奴土佐又平	東洲斎写楽	大判 錦絵	寛政6年(1794)7月	B
101	秋	玉川舟調	大判 錦絵	寛政(1789~1801)後期	
102	涼舟五枚続 四	栄松斎長喜	大判 錦絵	寛政(1789~1801)後期	
103	てう子屋美さ山 松葉屋わかな	五郷	大判・二枚続 錦絵	天明(1781~89)末期	
104	七福神続 滝川	一楽亭栄水	大判 錦絵	寛政(1789~1801)後期	

#### 4. 風景画家・北斎と広重

105	室内舞楽図	葛飾北斎	横長絵判 摺物	享和~文化(1801~18)前期	
106	小野小町	葛飾北斎	大判 錦絵	文化(1804~18)中期	A
107	在原業平	葛飾北斎	大判 錦絵	文化(1804~18)中期	B
108	富嶽三十六景 凱風快晴	葛飾北斎	横大判 錦絵	天保2~5年(1831~34)	
109	諸国名橋奇覧 飛越の堺つりはし	葛飾北斎	横大判 錦絵	天保5~6年(1834~35)頃	
110	百人一首姥かえとき 大中臣能宣朝臣	葛飾北斎	横大判 錦絵	天保6~7年(1835~36)頃	
111	京都名所之内 淀川	歌川広重	横大判 錦絵	天保5年(1834)頃	
112	東海道河つくし 安部川	歌川広重	団扇絵判 錦絵	天保7年(1836)	
113	甲陽猿橋之図	歌川広重	掛物絵判 錦絵	天保13年(1842)頃	
114	獅子の児落とし	歌川広重	掛物絵判 錦絵	天保(1830~44)中期頃	
115	六十余州名所図会 尾張 津島天王祭り	歌川広重	大判 錦絵	嘉永6年(1853)7月	

名品コレクション展示室 第5室

徳川美術館・蓬左文庫 平成28年度春季特別展

## ぶらり浮世絵散歩 —国貞・国芳・英泉—

最高度に洗練された彫りや摺りの技術に支えられた幕末浮世絵は、時に強烈なほど鮮やかな色彩、誇張歪曲されたモチーフや遠近法を駆使して、大胆かつ刺激的な画面を作り出しました。歌川国貞・歌川国芳・溪斎英泉は、このアクの強い表現力を活かして、画面から力感があふれる役者絵、観る人の度肝を抜く奇想天外な戯画、体臭さえも感じられそうな生々しい美人画など、名品を続々と世に送り続けました。本展示室では、近世文学の先駆的研究者・尾崎久弥（1890~1972）より名古屋市に寄贈された「尾崎久弥コレクション」と徳川美術館所蔵の浮世絵の中から、江戸の終わりに燦然と輝いた3人の浮世絵師を紹介します。

・作品番号蘭のアルファベットは図録掲載作品です。

No.	指定 作品名称	絵師	版型・寸法など	時代	期間所蔵
<b>歌川国貞 浮世絵史上最多の製作量を誇る幕末大巨匠</b>					
1	今様押絵鏡 金輪五郎今国	歌川国貞	大判 錦絵	安政6年(1859)	A ※※
2	踊形容江戸絵栄	歌川国貞	大判・三枚続 錦絵	安政5年(1858)	A ※※
3(C)	見立三十六歌撰之内 大中臣頼基	歌川国貞	大判 錦絵	嘉永5年(1852)11月	B ※※
4(D)	夏祭浪花鑑	歌川国貞	大判・三枚続 錦絵	安政6年(1859)5月	B ※※
5(B)	十二ヶ月ノ内 小春 初雪	歌川国貞	大判・三枚続 錦絵	安政元年(1854)6月	A ※
6	白木屋店頭三立美人図	歌川国貞	大判・三枚続 錦絵	天保期(1830~44)	A ※
7	酒酔の三妾	歌川国貞	大判・三枚続 錦絵	天保期(1830~44)	A ※
8	東海道五十三次内 日本橋	歌川国貞	中判 錦絵	天保4年(1833)頃	A ※
9	東海道五十三次内 品川	歌川国貞	中判 錦絵	天保4年(1833)頃	A ※
10	東海道五十三次内 鳴海	歌川国貞	中判 錦絵	天保4年(1833)頃	B ※
11	東海道五十三次内 宮(熱田)	歌川国貞	中判 錦絵	天保4年(1833)頃	B ※
12	源氏物語五十四帖 初音	歌川国貞	中判 錦絵	嘉永5年(1852)頃	A ※
13	源氏物語五十四帖 胡蝶	歌川国貞	中判 錦絵	嘉永5年(1852)頃	A ※
14	源氏物語五十四帖 若菜下	歌川国貞	中判 錦絵	嘉永5年(1852)頃	B ※
15	源氏物語五十四帖 柏木	歌川国貞	中判 錦絵	嘉永5年(1852)頃	B ※
16	難有御代ノ賀界絵 月ハ望月	歌川国貞	大判 錦絵	弘化元年~3年(1844~46)	B ※
17	難有御代ノ賀界絵 世の憂き	歌川国貞	大判 錦絵	弘化元年~3年(1844~46)	B ※
18	難有御代ノ賀界絵 水茶屋	歌川国貞	大判 錦絵	弘化元年~3年(1844~46)	B ※
19	誂織当世島 金花糖	歌川国貞	大判 錦絵	弘化2年(1845)頃	B ※
20	誂織当世島 噴水の玩具	歌川国貞	大判 錦絵	弘化2年(1845)頃	B ※
21(A)	誂織当世島 団扇型玩具	歌川国貞	大判 錦絵	弘化2年(1845)頃	B ※

No.	指定 作品名称	絵師	判型・寸法など	時代	期間 所蔵
22(A)	誂織当世島 船の玩具	歌川国貞	大判 錦絵	弘化2年(1845)頃	B ※
23	観音霊験記 西国巡礼 九番 奈良 南円堂	歌川国貞・ 二代歌川広重	大判 錦絵	安政5~6年(1858~59)	B ※
24	観音霊験記 西国巡礼 拾番 山城 三室戸寺	歌川国貞・ 二代歌川広重	大判 錦絵	安政5~6年(1858~59)	B ※
25	六美新図	歌川国貞	絹本着色	天保12年(1841)	※
歌川国芳 今や写楽・北斎に並ぶ大人気浮世絵師					
26	夜の梅	歌川国芳	大判・三枚続 錦絵	弘化元年~3年(1844~46)	A ※
27(H)	春の夜げしき	歌川国芳	大判・三枚続 錦絵	弘化元年~3年(1844~46)	A ※
28	浮世又平名画奇特 辻岡屋文助板	歌川国芳	大判・二枚続 錦絵	嘉永6年(1853)	A ※
29(F)	龍宮城 田原藤太秀郷に三種の土産を贈	歌川国芳	大判・三枚続 錦絵	安政5年(1858)4月	A ※※
30(E)	としよりのよふな若い人だ	歌川国芳	大判 錦絵	弘化4年(1847)頃	A ※※
31(G)	里すゞめねぐらの仮宿	歌川国芳	大判・三枚続 錦絵	弘化3年(1846)	B ※
32	浮世四十八癖 本を見るくせ	歌川国芳	大判 錦絵	弘化期(1844~47)頃	B ※
33	美盾十二支 申 与次郎	歌川国芳	大判 錦絵	天保(1830~44)末期~ 弘化期(1844~47)頃	B ※
34	美盾十二支 酉 宿称太郎	歌川国芳	大判 錦絵	天保(1830~44)末期~ 弘化期(1844~47)頃	B ※
35	賢女烈婦伝 静御前	歌川国芳	大判 錦絵	天保(1830~44)末期~ 弘化期(1844~47)頃	B ※
36	賢女烈婦伝 松浦佐用姫	歌川国芳	大判 錦絵	天保(1830~44)末期~ 弘化期(1844~47)頃	B ※
37	蛙の力比べ	歌川国芳	大判・三枚続 錦絵	弘化期(1844~47)頃	B ※※
38	十二段続 仮名手本桃燈蔵 大序	歌川国芳	大判 錦絵	嘉永5年(1852)8月	B ※※
39	坂田怪童丸 (建中寺徳川慶藏墓所出土品)	歌川国芳	大判 錦絵	天保(1830~44)中期	A ※
40	本朝水滸伝豪傑八百人一個 宮本無三四 (建中寺徳川慶藏墓所出土品)	歌川国芳	大判 錦絵	天保期(1830~44)	A ※
41	みかけはこはいがとんだいい人だ (建中寺徳川慶藏墓所出土品)	歌川国芳	大判 錦絵	弘化4年(1847)頃	B ※
42	本朝水滸伝豪傑八百人一個 鷺池平九郎 (建中寺徳川慶藏墓所出土品)	歌川国芳	大判 錦絵	天保期(1830~44)	B ※
溪斎英泉 ゴッホをも魅了した美人画の名手					
43(K)	今様花鳥風月	溪斎英泉	大判・三枚続 錦絵	天保期(1830~44)	A ※
44	江戸の松名木尽 青山圓座松	溪斎英泉	大判 錦絵	天保(1830~44)中期	A ※※
45	浮世姿 芝神明宮	溪斎英泉	大判 錦絵	天保(1830~44)後期	A ※※
46	当世料理通 武蔵屋	溪斎英泉	大判 錦絵	天保期(1830~44)	B ※
47(I)	美人東海道 掛川宿 廿七	溪斎英泉	大判 錦絵	天保13年(1842)頃	B ※
48(L)	当世好物八契 ちごくのさたも金したい	溪斎英泉	大判 錦絵	文政6年(1823)頃	B ※※
49(J)	北国八景の内 うらたんぼ暮雪 玉屋内白玉	溪斎英泉	大判 錦絵	天保(1830~44)前期	B ※※
50	木曾海道六十九次 深谷 (建中寺徳川慶藏墓所出土品)	溪斎英泉	横大判 錦絵	天保6年(1835)	A ※
51	木曾海道六十九次 倉賀 (建中寺徳川慶藏墓所出土品)	溪斎英泉	横大判 錦絵	天保6年(1835)	A ※
52	木曾海道六十九次 岩村田 (建中寺徳川慶藏墓所出土品)	溪斎英泉	横大判 錦絵	天保6年(1835)	A ※
53	子供遊踊尽 あたかの松	溪斎英泉	大判 錦絵	天保期(1830~44)	B ※
54	子供遊踊尽 石橋	溪斎英泉	大判 錦絵	天保期(1830~44)	B ※
55	子供遊踊尽 枕慈童	溪斎英泉	大判 錦絵	天保期(1830~44)	B ※
56	子供遊踊尽 すゝめおとり	溪斎英泉	大判 錦絵	天保期(1830~44)	B ※
国貞・国芳・英泉 版本の世界					
57	修紫田舎源氏	柳亭種彦作・ 歌川国貞画	墨摺中本 18冊の内	文政12年~天保13年 (1829~1842)	※※ ※
58	お仲清七正本製楽屋続絵	柳亭種彦作・ 歌川国貞画	墨摺中本 2編2冊	文化12年(1815)	※※ ※
59	化皮太鼓伝	十返舎一九・ 歌川国芳画	墨摺中本 2編1冊	天保4年(1833)	※※ ※
60	写生百面叢	花笠外史(文京) 作・ 歌川国芳画	墨摺中本 2冊	天保11年(1840)	※※ ※
61	春色恵の花	狂訓亭主人(為 永春水)作・溪斎 英泉画	墨摺中本 2編6冊	天保7年(1836)	※※ ※
62	杜若紫再咲	岩井条三郎作・ 溪斎英泉画	墨摺中本 3編3冊	文政11年(1828)	※※ ※
特別公開					
	◎ 歌舞伎図巻	詞書 伝烏丸光 広筆	紙本着色 2巻の内下巻	江戸時代 17世紀	※